

## 【平成 30 年度評価委員会 評価委員からのコメント】

### 評価項目番号 ①

- ・ AYA、ゲノムなどはまだ評価材料がなく、評価が難しい。
- ・ 三つの柱のうち、ゲノム医療、希少がん、小児がんに関する取り組みはよく分かったが、ライフステージに応じた人材育成の部分は、教育コースなどを見ても、もう少し充実させる必要があるのではないか。

### 評価項目番号 ②

- ・ e-learning を受講した後の理解度評価までできるとよい。

### 評価項目番号 ③

- ・ 天候不良により中止は残念であった。受講機会を確保する別の手段の検討が必要ではないか。
- ・ テレビ会議システムなどを導入するなどのバックアップも必要と思われる。

### 評価項目番号 ④

- ・ 市民公開講座のなかで、地域と連携して参加者が 14 名と少なかったものがあったのは残念であった。運営方法を再検討してはどうか。
- ・ YouTube の取り組みは評価できる。
- ・ YouTube での配信については、今後もぜひ取り組んで欲しい。

### 評価項目番号 ⑤

- ・ WEB サイトの更新が望まれる。がんプロ対象者がどの程度見ているのかは分からない。Facebook も 600 人の閲覧とあるが、一記事当たりだと数名にとどまるのではないか。
- ・ WEB サイトのさらなる周知が望まれる。

### 評価項目番号 ⑥

- ・ 全国がんプロ協議会及び e-learning クラウド活動会議への参加ができている。

### 評価項目番号 ⑦

- ・ 札幌医科大学のサルコマーボード、北海道大学の神経内分泌セミナー、旭川医科大学のほっとピアセミナー、北海道医療大学のゲノムへの取り組みはそれぞれ評価できる。

### 評価項目番号 ⑧

- ・ 自己点検は十分されている。
- ・ 4 大学共同プロジェクトの検討を期待している。
- ・ 舌がんへの関心が高まっているが、ぜひ歯学部も加えたがんプロフェッショナル養成プランにして欲しい。